

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所、大分市
ふ り が な	みちのえき たのうらら
1. 事業(施策)の名称	道の駅「たのうらら」
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和5年3月16日 ～ 令和6年7月20日
災害枠で推薦の場合	(災害発生日) 年 月 日 (災害名)
3. 事業費(工事費)	2,400百万円
4. キーワード	賑わいの創出と周遊の促進
5. 事業概要	
県都である大分市と国際観光温泉文化都市である別府市を結ぶ国道10号(通称「別大国道」)の中間に位置し、優れたアクセス性と観光地が集積する立地を活かし大分市のゲートウェイとして道の駅を整備。 『おおいたの魅力を“体感・発信・繋ぐ”賑わいと交流の拠点施設』をコンセプトに、休憩施設としてだけでなく大分の歴史や文化の情報発信やサイクル・ランナーズステーション、キッズスペースなどもあり、大分市西部海岸地区の魅力をさらに高め、賑わいの創出と周遊の促進を目指す。	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)既往技術の創意工夫、活用	(e)新たな事業手法(PPP、CM 等)や入札契約方法の改善
アピールする 2)「秀でた成果」	(e)良好な景観形成の実現 (k)施工の合理化・効率化 (i)環境保全対策	(b)コストの縮減 (c)ライフサイクルコストの低減 (f)地域の活性化 (j)環境保全対策 (k)施工の合理化・効率化

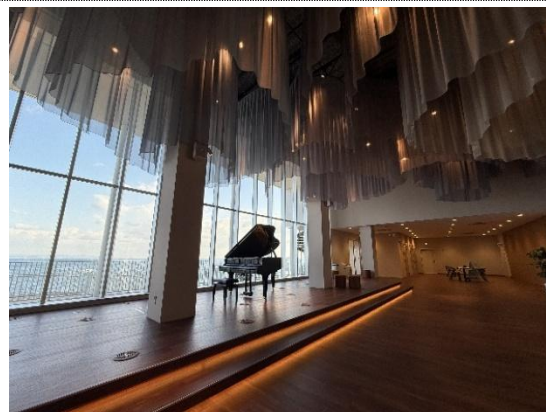
7. 特にアピールしたい点
・敷地が海岸沿いであり、並んで建つ地域振興施設(市)とトイレ(国)を、別府湾の穏やかな海や高崎山の稜線をイメージした緩やかな曲線が連続する屋根と白い外観デザインとして周辺との調和・景観に配慮するとともに、大分県産材の積極的活用や自然光の利用、リサイクル資材の活用など環境負荷低減にも配慮した施設である。 ・道の駅「たのうらら」では、大分市内や大分県内の観光情報提供や、大分市内外の特産品を取り扱うことによる他市町村への訪問意欲を創出するなど周遊を促すとともに、西洋音楽発祥の地であることを踏まえた「おとの聴こえる広場」では、誰でも演奏できるグランドピアノが配置され、プロの演奏家によるコンサートや地元のピアノ発表会にも活用されるなど、来場者の賑わいと癒やしの場となる施設である。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



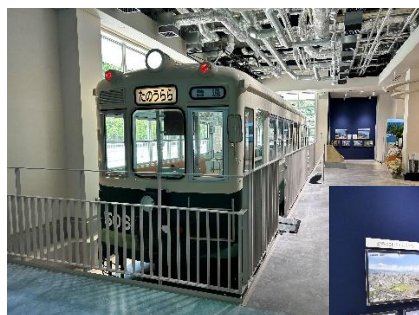
【道の駅施設全景】

大分市と別府市を結ぶ別大国道沿い。海と山に囲まれ自然豊かな土地にある道の駅。



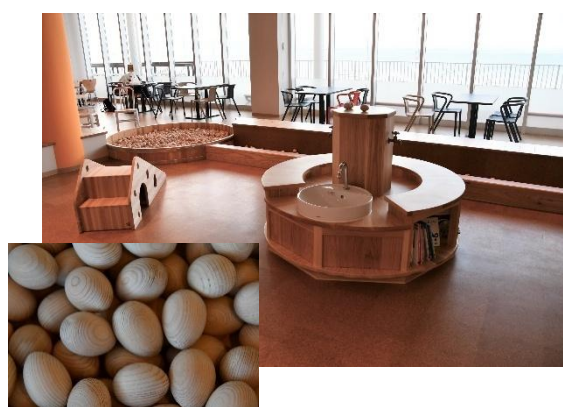
【おとの聴こえる広場】

誰でも演奏できるピアノが配置され気軽に音楽を楽しめる空間。プロの演奏家によるコンサートや地元のピアノ発表会などにも活用されている。



【歴史文化コーナー】

実際に別大国道を走行していた路面電車や復元整備している「大友氏館跡」など歴史や文化を学べる。



【キッズスペース】

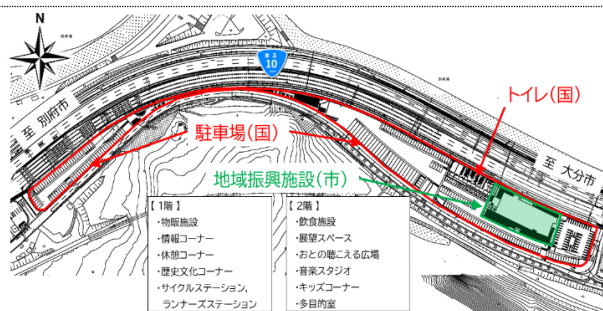
木育広場として子供たちがのびのび遊べる空間。木の玉は大分県産材を利用。

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



【事業概要】

「大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成基本構想」(平成30年7月策定)に基づき、「観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進」を促す「憩い・交流拠点施設」として、民間企業のノウハウ・経営能力・創意工夫等を活用して整備し、令和6年7月7日に開駅。



【施設概要】

面積: 約17,520 m²

施設: 駐車場270台、トイレ74器、情報提供コーナー、休憩コーナー、ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、多目的室、キッズスペース、歴史文化コーナー、ホール(おとの聴こえる広場)、音楽スタジオ、サイクルステーション・ランナーズステーション、展望スペース、屋外テラス、EV充電施設、サイクルラック

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



【INFORMATION】

外国語対応可能なコンシェルジュが常駐。
施設案内や市内、県内の観光情報なども提供している。



【たのうら市場】

地元食材を中心とした生鮮食品やたのうらオリジナル商品などここにしかないお土産がたくさんある。



【展望デッキ】

別府湾岸を一望できるテラス。
海風を感じながら、スイーツを食べるのがおススメ。



【サイクルステーション/ランナーズステーション】

別大国道は、別府湾岸・国東半島サイクルルートとしても設定されている。
サイクリストやランナーが安心して立ち寄れるよう、シャワーブースや自転車のメンテナンススペースを完備している。

【事業の成果】

令和6年7月7日のオープン以来、令和7年1月25日に来場者が30万人を突破。
令和7年11月末現在で73万6千人となっている。

